

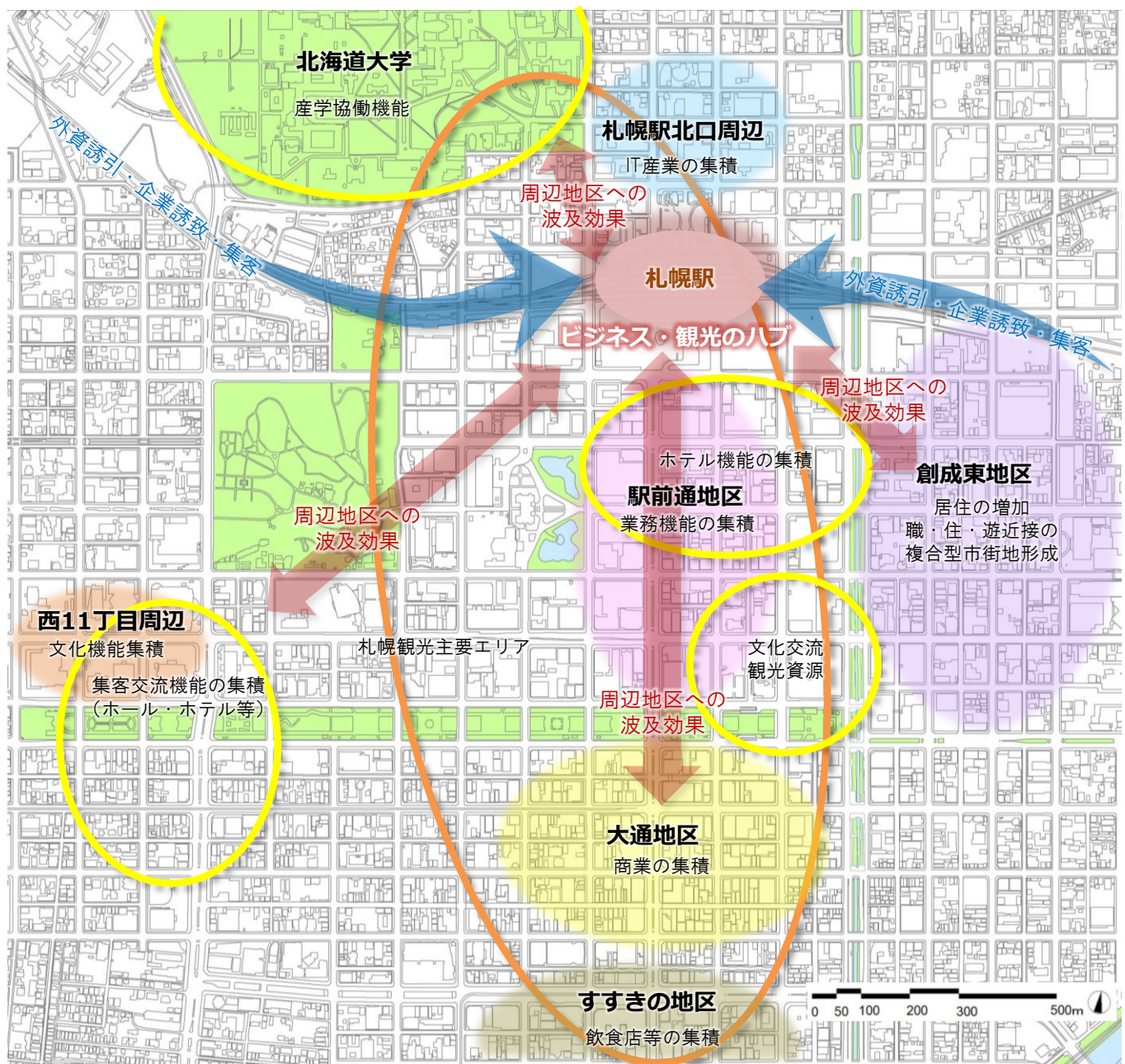
3-2 機能集積の基本的な考え方

＜取組の目標＞

国内外からの投資を促進する国際ビジネス・観光ハブの形成

急速に加速するグローバル社会において、札幌・北海道の更なる国際競争力の強化をけん引する拠点の形成が求められます。その実現に向けて、都心の周辺地区や周辺都市とも連携し、国内外から投資や集客を呼び込む魅力的な都市観光、国際ビジネスのハブとなる拠点機能の集積を目指します。

特に、札幌駅の広域アクセス機能の強化やオリンピック・パラリンピック招致などを契機に札幌・北海道のグローバル化が一層高まることを見据え、世界都市札幌の活力を象徴する高規格なオフィスや宿泊施設、商業施設などの高次都市機能の集積を図ります。



＜取組の方針＞

先導街区に求められる機能として、民間の知識や創意工夫、資本等を積極的に活用し、以下の機能を整備していくことが望ましいと考えます。

方針1：札幌・北海道の魅力・情報発信機能、にぎわい機能の整備

- ビジネスや観光で札幌を訪れる方々の市内滞在や周遊に資する総合案内・サービス窓口（コンシェルジュ）機能
- 札幌・北海道の魅力を発信するPR・ショールーム（シティプロモート）機能
- 札幌駅から周辺街区へのにぎわいの連続性を生み出すとともに、北海道の魅力を発信する商業・娯楽機能



多言語対応のコンシェルジュが対応する
情報窓口 (Tokyo City i)

方針2：国際水準・多言語対応の滞在・サポート機能の整備

- 海外からのビジネス・観光滞在を促進するとともに、オリンピック・パラリンピック開催を見据えた国際水準の宿泊機能
- 医療・教育・商業・娯楽等の生活支援機能



国際水準の宿泊機能

方針3：札幌の優位性を活かした企業誘致・産業創造の促進機能の整備

- 国内外からの企業移転・誘致を促進する災害に強く事業継続性の高い高規格なオフィス
- 北海道の企業・研究機関のPR・ビジネスマッチング機能
- 起業・新産業創出をサポートするビジネス支援機能（行政手続・専門家案内等）



高規格なオフィス空間

※機能配置については既存建物・地下街等を含め、最も効果的な配置を総合的に検討する